



2015
平成27年

8

きずな

K I Z U N A

特集
テーマ

同和問題

正しい理解が社会を変える

ひょうご・ヒューマンフェスティバル

- ② 同和問題の解決に向けて
- ③ 「同和問題への理解を深めるために」
菱山謙二さん(筑波大学 名誉教授)
- ④ 「同和問題の経緯・現状と今後の課題
～同和対策審議会答申から50年～」
兵庫県健康福祉部人権推進課
- ⑤ 「世界に誇れる姫路白なめし革」
姫路白なめし革保存研究会(姫路市)
- ⑥ 「つながりと広がりを大切にしたい人権啓発」
人権come架夢(加古川市)
- ⑦ ふれあいサロン
- ⑧ 情報ぶらざ

8月は

人権文化を
すすめる
県民運動

推進強調
月間です。



兵庫県マスコット
はばタン

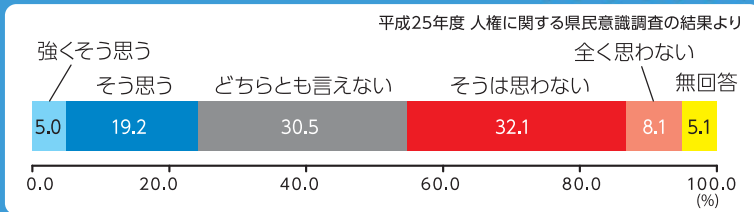
兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会

同和問題の 解決に向けて



設問

同和問題は、口に出さずにそっとしていれば自然になくなる



同和問題は日本固有の人権問題です。同和問題に対する県民の皆さんの理解は深まりつつありますが、結婚差別やインターネットを悪用した人権侵害、不動産売買等における土地差別など解消すべき課題も残っています。同和問題について、因習や偏見にとらわれることなく、正しい理解を深め、自らの問題として、人権の視点から見つめ直してみましょう。

この設問に対する県民の皆さんの考えは、『そうは思わない(計)』(『全く思わない』と『そうは思わない』を合わせた割合。以下同様)が40.2%で『そう思う(計)』(『強くそう思う』と『そう思う』を合わせた割合。以下同様)24.2%を上回っています。また、『どちらとも言えない』が30.5%となっています。

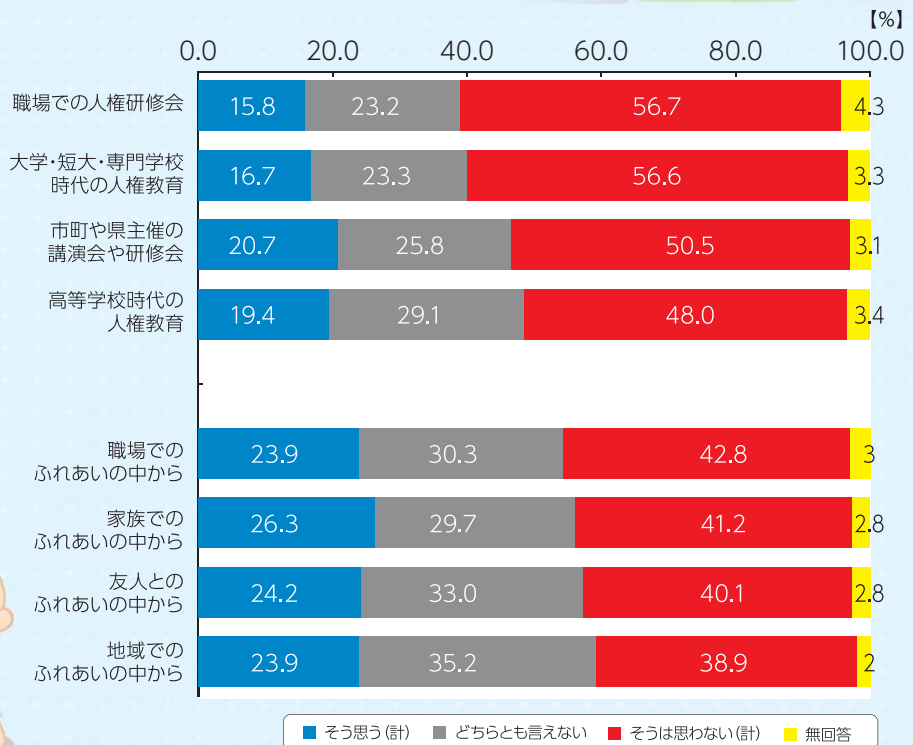
さらに、この設問について、下記グラフのとおり、別の設問(人権尊重の考え方に強い影響を与えたもの)の回答者別にみると、『そうは思わない』と回答した人の割合は、[職場での人権研修会]と答えた人では56.7%、[大学・短大・専門学校時代の人権教育]と答えた人では56.6%と高い割合である一方、[友人とのふれあいの中から]と答えた人では40.1%、[地域でのふれあいの中から]と答えた人では38.9%と低い割合になっています。

このことから、人権研修や人権教育を受けた人の多くは、同和問題は研修や教育を通じて、正しく理解しなければ解決できないと考えていることがわかります。



別の設問

人権尊重の
考え方に強い影響を
与えたもの



(平成25年度 人権に関する県民意識調査より抜粋)



同和問題への理解を深めるために

筑波大学 名誉教授

ひしやま けんじ
菱山 謙二さん

最近、ネットで大型掲示板を検索すると、次のような書き込みがありました。あるタレントのことを「〇〇のB地区出身ですよ」という書き込みです。B地区とは「部落」ということのように、いわゆる「同和地区」だと分かるような記述になっています。たとえば、同和地区の出身だからと言って、何が問題なのでしょうか？

問題なのはその書き込み自体です。いわゆる「同和地区」についての事実無根の間違ったイメージや嘘の話がいつぱいくつついていることです。大型掲示板などでの書き込みの多くは、マイナスイメージを想起させるように言葉を使用しています。読んだ人がマイナスイメージを想起するということは、読む人の心の中に偏見や差別心が横たわっていることが多いからです。こうした書き込みは、同和地区の人々に対しての「人格権」の侵害という「犯罪」にも等しい行為となりま

す。こうした人格権の侵害は今もたくさんあるのですが、同和問題はもう無い、などと言う人も増えつつあるのはなぜでしょう。

「同和对策審議会」が同和問題の早期解決のため政府に「答申」を行ったのは1965(昭和40)年8月のことでした。今年は、答申がなされてから50年になりますが、同和对策審議会とは何ですか、というような状況が現れています。一番大きな理由は、2002(平成14)年に同和对策に関する特別措置の法律が終了し、同和問題はもう無いというような誤った認識が広がり、同和問題に関する学習の機会が大きく減退したからです。※協議会意見具申と当時の政府は、一般対策での工夫と努力によって問題解決を図ろう、という結論でしたが、同和問題への理解が十分でない人たちが、啓発や教育を軽視する事態となってしまうのです。

心ない人たちが、いかにも物知り顔

に、ネットなどで、匿名性を悪用しながら、人権侵害を行い、それをよしと思う人が増えているということも大きな問題です。

自分が失いたくない人権があるのなら、他の人にも同じ人権があるということを自覚すべきでしょう。相互に人権を尊重しなければ「人権文化」が定着した社会は形成できないし、自らの人権も保護されないことになります。

人権の無い社会は恐ろしい社会です。人権を剥奪^{はくだつ}されている社会現象があれば人権問題となります。同和問題は国内の典型的な人権問題であり、前述の協議会意見具申にもありますように、心理的な差別を中心に、まだまだ課題は残されているのです。この問題解決は今も「国民的課題」として存在していることを忘れてはなりません。

※平成8年に、地域改善対策協議会が政府に対して行った具申のこと

プロフィール

1974(昭和49)年、東北大学大学院教育社会学博士課程単位取得修了。筑波大学教授を経て、2008(平成20)年 筑波大学名誉教授。2013(平成25)年から、(公財)人権教育啓発推進センター 上級特別研究員。他に、総務庁地域改善対策協議会委員、北九州市同和对策審議会委員などを兼ねる。著書は、『新版 人権と同和問題』、『優しい同和問題の知識』(ともに明石書店)など多数。



同和問題の経緯・現状と今後の課題

同和对策審議会答申から50年へ

兵庫県健康福祉部 人権推進課

同和問題とは

同和問題とは、同和地区・被差別部落などと呼ばれる地域の出身であることやそこに住んでいることを理由に、結婚を反対されたり、就職や日常生活のなかで様々な差別を受ける問題です。

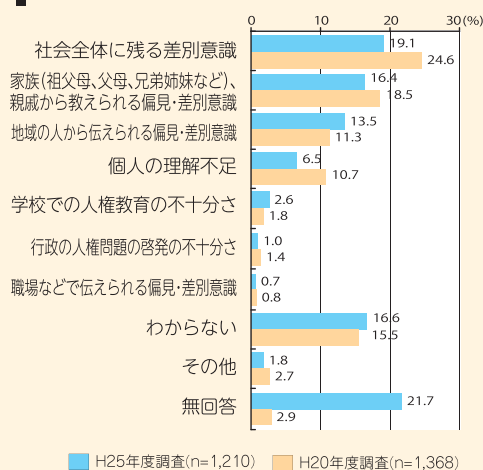
日本の長い歴史の中で形づくられた身分制度のもと、江戸時代には、一部の人が武士や町民・農民などと別の身分とされ、衣食住にわたる厳しい規制や差別を受けていました。

明治政府が成立して間もない1871(明治4)年に発布された、いわゆる「解放令」により、身分制度は廃止されましたが、現実には差別は無くなることはなく、国民の一部が経済的、社会的、文化的に低い状態におかれる状況は長く続いてきました。

同和对策の経緯

戦後、日本国憲法が施行され「基本的人権の尊重」「法の下の平等」の理念が普及する一方、昭和30年代中ごろから経済成長により地域内外の格差が拡大したことなどにより、この問題の解決を求める声は高まり、政府は同和对策審議会を設置、1965(昭和40年)に「同和对策審議会答申」が出されました。

同和問題が生じる原因や背景として、あなたが一番思い当たるのは次のどれですか。(○は1つだけ)



この答申において、同和問題の解決は「国の責務であり、同時に国民的課題である」とされ、生活環境の整備や福祉、産業・職業、教育、人権の擁護などを内容とする総合的な対策がとられるべきと提言されました。

この答申を受け、1969(昭和44)年に「同和对策事業特別措置法」が施行され、それからも法律は名称変更や数回の延長がなされ、33年間にわたり国と地方公共団体が一体となって各種分野で特別対策に取り組んだ結果、さまざまな面で存在していた格差は住環境を中心に大きく改善され、2002(平成14)年に特別対策は終了しました。

意識面に残る課題(県民意識調査の結果から)

こうした中、兵庫県が実施した意識調査をみると、同和問題が生じる原因や背景として、「社会全体に残る差別意識」「家族・親類から伝えられる偏見・差別意識」などは減少するなど正しい理解と認識は深まりつつある一方、結婚相手がいわれる同和地区の人であった場合の質問では「結婚しない」との回答は若干増加(15.6%→17.0%)するなど、同和問題を自らのものとして受け止めた場合の県民の意識には、未だに課題が残されていることが分かります。

解決を阻むさまざまな事例

○インターネットによる差別表現

インターネットの普及に伴い、特定の地区を同和問題に関連した地区として、その名称や映像をネット上に流すなど、差別を助長させる行為が発生しています。

これらは、だれが書いたかわかりにくいという匿名性(実際には判明する)を悪用して、誤った認識や差別意識を広げてしまう許されない行為です。

○身元調査

2005(平成17)年に、ある行政書士が興信所等からの依頼を受けて不正に戸籍謄本等入手していた事実が、また2011(平成23)年11月には、東京の司法書士等による全国規模の不正取得事件も発覚しました。身元調査は、結婚差別や就職差別につながる行為であり、厳正な対応が必要です。

なお、このような戸籍謄本等の不正取得を防止するため、「本人通知制度」を導入する市町が増えています。

○土地差別調査

2007(平成19)年に、大阪府において、マンション等の開発業者から調査の依頼を受けた企業が、特定の地区を「不人気地域」などの差別的表現で報告していたことが発覚しました。また、同和地区について自治体等への問合せは今も発生しています。これは偏見や差別意識が根強く残っている現れです。

その他にも、同和問題を口実に不当に寄付を募ったり、高額な書籍を売りつけたりする、「えせ同和行為」も発生しており、同和問題について正しく理解するとともに、不当な要求には毅然とした態度で拒否することが大切です。

兵庫県の取り組み

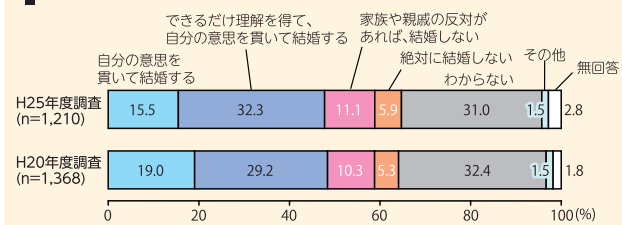
兵庫県では県民一人ひとりが、日常生活の中で人権尊重を、態度や行動として自然なかたちで表すことが文化として定着している社会をめざし、「人権文化をすすめる県民運動」を市町とともに推進することにより、同和問題をはじめ、あらゆる差別のない共生社会づくりを目指しています。

さらに、同和問題に対する正しい認識と理解を深めるための教育・啓発が浸透していくよう、学校・家庭・地域・職場など様々な場において、隣保館等関係機関とも連携しながら取り組んでいきます。

また、差別を助長するような事案に対しては、法務局と連携して適切な対応を図ります。

結婚についてお聞きます。

たとえば、あなたが結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとした場合、あなたはこうされますか。(○は1つだけ)



※「本人通知制度」とは?…あなたの代理人や、第三者(弁護士、司法書士等の資格を持つ人など)が、あなたの戸籍謄本等や住民票などを取った際、市役所や役場から通知を行うものです。この制度の利用を希望される方は、あらかじめ市役所等での登録が必要です。

※県内では29市町が導入しています。(平成27年7月31日現在)

※第三者に交付出来ないようにする制度ではありません。

世界に誇れる 姫路白なめし革

「姫路白なめし革」は、姫路市東部を南北に貫く市川の清流と一握りの塩、猪口（ちよこ）3杯分の菜種油を使つて、丁寧になめされて仕上がります。白く、柔軟、強靱で加工しやすい特徴を持ち、かつては武具類の製作に欠くことができない素材でした。現在では、染付、バッグや被服などの製作に適しているとして、海外からの買い付けも増えています。

古代の技法を今に伝える

「姫路白なめし革」の技術は、タンニンやワロムを用いた近代なめし法が普及する一千年以上も前から、脈々と受け継がれていました。この技術の継承者が姫路市内で一人まで減少したことを知り、有志が集まって「姫路白なめし革保存研究会」を結成。技術の再生・継承に取り組んでいます。現在の代表は、新敏製革所の新田眞大さん。

製革作業は、基本的に分業制だったために、全工程を正確に覚えている人がおらず、継承者の情報を頼りに、理想の白さを求めて、試行錯誤を重ねてきました。

姫路白なめし革
保存研究会（新敏製革所内）代表

新田 眞大さん
（にった まとも）

牛皮を市川で数日間浸し、微生物の作用によって、毛根を緩めて脱毛。厚さを調整し、腐敗しないように塩と菜種油を加えて足で揉みます。揉みと天日干しを繰り返すことで、自然の白さを醸し、柔軟できめが細かく、かつ強靱な革になります。新田さんは、職人としての感覚だけでなく、作業を数値化し、品質の安定を図っています。

薬品を使わない、なめしの技法は世界でも大変珍しいといえます。2000年、ドイツのロイトリンゲン皮革研究所・なめし革技術学校から、そのノウハウの保存を求められたことで、世界的に認知度が高まりました。

モノづくりを通して

古来より、革は人の生活に密着したものでした。人が生きていくために、命をいただいた動物を再利用する製革。しかし、製革は一人だけではできないと新田さん。動物の飼育、屠殺、運搬等、多くの人々の仕事を経て、自分の製革は完成すると言います。これは製革だけに限ったことではなく、「皆が仕事に誇りを持ち、互いの役割を認め合ってこそ、よりよい社会になるの

では」と話します。

姫路の技術を後世まで

「姫路白なめし革保存研究会」には、海外から多くの人が視察・買付に訪れます。しかし、新田さんは「地域の人こそ、姫路には、すばらしい製革技術があることを知ってほしい」と地域に向けた情報の発信に力を入れています。塩と菜種油だけを用い、市川の清流と太陽の恩恵を受け、職人が作り出す「姫路白なめし革」。世界に誇れる日本の技術に、ますます注目が集まりそうです。



コサージュとバッグ。白なめし革の特徴を生かし、小物や被服、靴などに幅広く加工されます。鹿皮を用いたフェイスクロスもあります。

姫路白なめし革保存研究会（新敏製革所内）
姫路市花田町高木196-1
079(222)2216





かむ かむ
人権come架夢
(加古川市)

つながりと広がり 大切にしたい人権啓発

2015(平成27)年4月、加古川市内に4つあった隣保館が統合され、「人権文化センター」が設置されました。中央隣保館で13年間活動が続けてきた市民活動グループ「人権come架夢」は、センターを新しい活動拠点として、人権啓発を進めています。

「生」の出会いを大切に

「人権は、有事には真っ先に壊されるもの。平和な時こそ、人権について学ばべき。母となる今こそ人権感覚を磨くことが大切」。メンバーの浜さんが子育て中の23年前に恩師に言われた言葉です。この言葉を受けて、代表の

清田さんたちと活動を開始。人権に関する活動をしている方々に直接会い、聞き取りした内容を発表するという研修会を続けてきました。

2002(平成14)年からは、その経験を生かして、人権問題を考えるグループ「人権come架夢」を結成。名前には、人権を通して、人々のつながりが広がっていくような夢の橋を架けたいという願いが込められています。

本音で話せる場づくり

同グループでは、定期的に学習会を実施しています。活動で大切にしていることは、本音で語ること。しかし、初めて学習会に参加する人は、思いを話すまでに時間がかかると思います。そこで、清田さんは、学習の進め方を一工夫。知人から送ってもらった皮革を使って、小物づくりをしながら、「人権」について話し合うスタイルを取り入れました。皮革や木綿を使った作品は展示を通じて多くの人にご覧いただき、好評でした。

「人権come架夢」の中心となる活動は、パネル劇による人権啓発。時事の人権課題をテーマに取り上げます。取材をしながら、伝えたい事実や知識を織り込んだシナリオを考えます。シナリオ作りには時間をかけ、メンバーで納得いくまで話し合います。観客に問いかける場面を設けて、会場を巻き込んだ啓発を心掛けてい

ます。これまで、同和問題をはじめ、高齢者、障害のある人、性同一性障害、ハンセン病など多くの作品を発表してきました。

「人権について考えることが、本当におもしろい」と話すメンバー。テレビを見ていても、興味を引くものがあるれば、すぐに情報交換するそうです。今は、障害のある人への聞き取り学習を始めています。「今後もうろんな方との出会いとつながりを大切に活動していきたい」と清田さんは抱負を語ります。



パネル劇「チャンスを生かそう。無関心から関心へ」の一幕。
ハンセン病への正しい理解を求めました。



みんなに「福」が来るよう願いを込めて、革製の小物を作成。作業を通じて、自由に意見を言える雰囲気を作ります。

活動日は、第1金曜日 19時～21時。現在のメンバーは10名。パネル劇は、加古川市ふれあいの祭典などで発表しました。

活動場所 加古川市人権文化センター

電話 079(451)5030 **住所** 加古川市加古川町備後332-1

映画紹介

平成26年度人権啓発ビデオ
「あなたに伝えたいこと」

この作品のテーマは「インターネット時代における同和問題」です。

同和問題は、様々な対策の結果、生活環境などハード面の改善は進みましたが、結婚差別や身元調査など意識の面では依然として課題が残されています。また、インターネットには、利便性だけでなく、匿名性に関する誤った理解による差別的な書き込みやネット依存など陰の部分があります。

この物語の主人公はごく普通の若い女性です。物語が進む中で、彼女は、自分の祖母や母が同和問題でつらい思いをしていたことを知ります。彼女の結婚話を中心に、恋人や友人、家族などの関わりを通して、この問題が決して他人事ではないこと、ネット上の情報だけではなく実際に人とふれあう中で、お互いを正しく知り合うことが同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るい希望とともに伝えます。



出演: 笹岡萌希(つのおかもえき)、根岸季衣(ねぎしとしえ)、中村育二、高田敏江ほか

企画: 兵庫県、(公財)兵庫県人権啓発協会

企画協力: 兵庫県教育委員会 製作/東映(株)

字幕副音声付/36分 活用ガイドあり

●貸し出しについて
(公財)兵庫県人権啓発協会研修部
TEL078(242)5255

●購入について
東映(株)関西営業推進室
TEL06(6345)9026



読者からのお便り

きずな6月号を読んで、男女共同参画社会の実現に向けての「家庭での役割分担の意識調査」から、“地域の行事参加”“子育て”“高齢者の介護・世話”で、夫婦が共に協力していく考え方が多くなっていることがうかがえました。今後、一人ひとりの意識の高揚につながっていくと確信します。

✉ (小野市・銭形平次パート3さん)

露の団姫さんの紙面が目にとまりました。最近よくテレビで見かけるようになり、興味を持っていました。将来は、駆け込み寺を作りたいとのことで遠くから応援したくなりました。

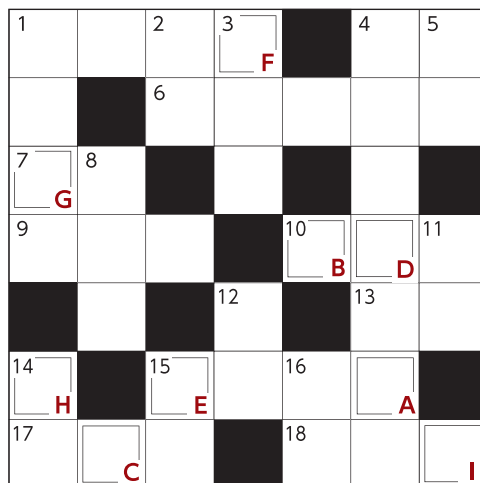
✉ (赤穂市・りんままさん)

Half timeの「パラレルキャリア」は初めて聞いた言葉でした。以前に「二足のワラジ」という言葉を使っていたりしていたことを思い出しました。これからいろいろなことに関わっていきたいと思います。

✉ (赤穂郡・横野裕子さん)



問 クロスワードを解いて、A～Iの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう？



たてのカギ

1. 絵と簡単な文章で楽しい夏休みの記録を残しましょう
2. 同和問題を口実に不当な要求をする〇〇同和行為は断じて許されません
3. 労働を主な目的として外国に移住すること。明治時代にはハワイやブラジルへの集団〇〇〇が行われました
4. 胸の前に抱え両手で蛇腹を伸び縮みさせながら、鍵盤を押して演奏します
5. 考え・感覚などが鋭く働くこと。「頭の〇〇」
8. 本心からではない、うわべだけの善行
11. 外出して家にいないこと。「隣に〇〇を頼む」
12. 〇〇が合わない人とも交流を図るように心がけたい
14. 審査・試験などに合格すること
15. 絵を描くことを職業とする人
16. 極めてまれなこと。〇〇メタル

よこのカギ

1. 海や湖などで長い距離を泳ぐこと
4. 「〇〇の来ない夜はない」とは名言ですね
6. 「しづかさや岩にしみ入る〇〇〇〇〇」
7. 〇〇から〇〇へと起こる難問にも、果敢に取り組んでいきたい
9. 不当な要求には〇〇〇とした態度で接したい
10. 模範、手本。他の〇〇〇〇ケースとなるような街づくりをめざしたい
13. 机と〇〇。大臣の〇〇
15. 地動説、宗教裁判といえば〇〇〇〇ガリレイ
17. 夏休みの3時のおやつ定番はこのくだもの
18. 深く考えず努力もせずに“〇〇〇に流れる”生き方は避けたいですね

6月号の答え ア メ ニ ハ エ ル ア ジ サ イ

投稿&クロスワードで「オリジナルカードケース」をプレゼント! //

「読者からのお便り」の投稿掲載者(平成27年10月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)に、「オリジナルカードケース」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通した心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。※投稿はペンネームの使用も可能です。※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法 締め切り

はがきか、ファクス、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢・職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。9月4日(金)締め切り(必着)

応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内
(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあいサロン係
TEL:078(242)5355 FAX:078(242)5360 Eメール:info@hyogo-jinken.or.jp
*投稿者および応募者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



ひょうご・ヒューマン フェスティバル2015

入場
無料

inこうべ を開催

日時 8月8日(土)

9:30~15:30

場所 兵庫県立文化体育館

(山陽電車「西代」駅下車北すぐ
JR・神戸市営地下鉄「新長田」駅下車北へ徒歩8分)

※公共交通機関をご利用ください。

対象 どなたでも参加できます

問い合わせ先

公益財団法人兵庫県人権啓発協会 県立のじぎく会館内 TEL.078(242)5355

■人権講演会「OH!家族 ジェフ・バーグラン
ドと考える家族と子育て」/ジェフ・バー
グランド氏(京都外国語大学教授・タレント)

■キャラクターショー
「手裏剣戦隊ニンニンジャー」(9:30より
先着順で写真撮影会の整理券を発行)

■地元団体による「ふれあいステージ」ア
ンクルン オーケストラ、中高生ソダの
会、御影ジャズランチクラブ、Hug Hug Mommy-Go!

■ファミリーシネマ
DISNEY「アナと雪の女王」(9:30より先着順で入場整理券を発
行)、「あなたに伝えたいこと」

■スタンプラリー(景品:妖怪グッズ)

■子ども多文化共生フォーラム、パネル展、販売コーナーなど



手裏剣戦隊ニンニンジャー ショー

観覧無料

時間 13:00~13:50

場所 多目的ホール 2階



©2015 テレビ朝日・東映・AG・東映



※ショー終了後(13:30~)写真撮影会を行います。
(カメラはお持ちください。)



©INAC KOBE (Photo By T.INOUE)



INAC神戸レオネッサ

わたしたちも
“人権文化をすすめる県民運動”を
応援しています!



©阪神タイガース



HANSHIN
Tigers

イベントガイド

<p>丹波市 人権講演会 (被爆ピアノコンサート)</p>	<p>日時 8月4日(火) 19:00~20:45 場所 春日文化ホール※JR福知山線「黒井」駅下車徒歩3分 戦後70年を迎え、被爆ピアノコンサートを開催。被爆ピアノの所有者で あり、調律師矢川光則氏の講演のほか、オペラ曲等のコンサート 矢川光則さん(語り)、大島久美子さん(朗読、歌)、森須奏絵さん(ピアノ)</p>	<p>問い合わせ 丹波市人権啓発センター TEL 0795(82)0242</p>
<p>西脇市「人権文化をすすめる 市民運動」推進強調月間講演会</p>	<p>日時 8月21日(金) 19:30~21:30 場所 鹿野町公民館※JR加古川線「比延」駅下車徒歩10分 人権講演会他 演題「天の眼と怒り」●講師 位田隆久さん(元報徳学園中 学校・高等学校長)その他7会場でも、同様の講演会を実施しています。</p>	<p>問い合わせ 西脇市教育委員会人権教育室 TEL 0795(22)3111</p>

インターネット動画配信中「人権文化をすすめる県民運動」の模様を更新しました!

人権文化をすすめる 動画

検索

人権に関する川柳を募集します!

いずれかのテーマに当てはまる川柳を募集します。
優秀作品は「ぎずな」に掲載し、オリジナルクリアファイルをプレゼント。

募集テーマ 職場、ネット社会、障害のある人

応募方法 はがきか、ファクス、メールで受け付け。
郵便番号、住所、名前(ペンネームの場合も併記)、年齢を明記のうえ、
ご応募ください。9月4日(金)締め切り。(応募はお1人1点とします。)

インターネット上を含む未発表・未投稿の自作の作品に限りです。

応募先 (公財)兵庫県人権啓発協会(下記参照)

ハーフ
half
タイム
time

「人権って楽しい」と話しておら
れた人権come架夢さん。現団
体として14年。前身も入ると活
動歴は20年以上になります。

フィールドワークや取材を通じ
て、「生」の出会いを大切にした素
材を提供し、みんなで考えることを重視しています。導
入に小物づくりを取り入れるなど、参加者が興味を持
つための工夫や雰囲気づくりをしておられました。

こうした工夫に長く続けられる取り組みのヒントが
あるように思いました。

(小池)

「ぎずな」は、協会ホームページからもご覧になれます。

(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内

TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 info@hyogo-jinken.or.jp

兵庫県人権啓発協会

検索

2015(平成27)年8月発行